

タイトル『 流浪の月 』

著者： 風良 ゆう

出版社： 創元文芸文庫

物語が道へにつれてゼロから築きあげられていく信頼関係や、逆に失われる関係値がリアルリティを感じられ、非現実的なながらも本当にどこかで起きている出来事なんじゃないかと感じられる作品です。普段生活している中で考えもしないような視点で描かれるため、読む前と後で物事の考え方が大きく変わります。

また、一見可愛くて惹かれる表紙のイラストが、読んだあとに何故この表紙なのか分かり、またもう一度読みたくなります。

一度で全てを理解するのは難しいので、ぜひ何度も読んで自分の中で理解を深めてみてください。

投稿日 令和5年 7月 26日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

Rion

年齢

17

仙台市

YAコーナー